

12月25日（月） 終業式 校長先生のお話です

～充実していた2学期でした おだやかなお正月になるようにみんなで祈りましょう～

今日は2学期の終業式です。元気にあいさつをしましょう。おはようございます。

2学期の終わり、そして令和6年ももう終わりを迎えます。あっという間に2学期が過ぎた感じがします。それだけ時間の過ぎるのが早く感じるのは、この2学期が充実していたと言えるかもしれません。

先日の保護者会でこんな話を言いました。「今の清新一小の子供たちは、一生懸命頑張ることができる子供たちばかりです。本番だけでなく、練習の時から頑張ることができます。学習発表会や、マラソン大会がそうでした。そして1月の書初め大会も、練習から頑張っています。こうした良い雰囲気をこれからも継続できるようにしていきます」・・・希望の未来である50周年に向けてスタートした大事な年でしたが、良い方向で進んでいます。みんなで頑張れたことが何よりも大きな成果でした。個人個人に課題はあるけれど、全体としては合格点を上げられます。こうした雰囲気は、授業にも影響しています。100%ではありませんが、1学期の終わりに比べて確実に全クラス、全教科の授業が充実してきました。この流れを止めることなく、3学期も頑張りましょう。

最後に、今年のお正月は、残念ながら希望に燃えるお正月にはなりません。1月1日の元日に能登半島地震が発災したからです。みなさんの記憶には、その時のことがまだはっきりと残っていると思います。来年のお正月は、おだやかなお正月であるように、みんなで祈りましょう。そして、3学期の始業式にはみんなが笑顔で希望に燃える気持ちで登校してください。お話を終わります。